

## ■信州公衆衛生学会長講演

### 三職能（保健師、助産師、看護師）が生活を支える地域連携

社団法人長野県看護協会 会長 西澤喜代子

長野県看護協会は保健婦助産婦看護婦法が制定された昭和23年3月に設立された。

戦後間もない混乱期の中ではあったが助産婦は既に専門職として活動をしていた。

保健婦は保健所、市町村、国保ともに保健婦導入の方向にあり、保健婦不足であり講習会が盛んに行われた。公衆衛生の発展途上でもあり地域における要請があった。

昭和27年、長野県保健婦専門学院（長野県公衆衛生専門学校の前身）の開校は長野県の地域看護を支え発展させる大きな力となっていった。

今回良い機会を与えていただいたので看護協会の歩みを通し人々の生活を支える為の三職能の役割と課題について述べてみたいと思う。

#### ●看護協会の設立と保健婦助産婦看護婦部会の活動

#### ●協会組織一本化による職能委員会の体制

#### ●長野県における看護教育の変遷と協会活動

#### ●地域連携における三職能の役割と課題

#### 【西澤 喜代子（にしざわ きよこ）先生 ご略歴】

1964年 長野赤十字看護専門学校卒業  
1964年 長野赤十字病院  
1966年 日本赤十字社幹部看護婦研修所  
1968年 長野赤十字看護専門学校専任教師  
1984年 長野赤十字病院看護婦長  
1988年 長野赤十字看護専門学校専任教師  
1993年 長野赤十字病院看護副部長  
1999年 長野赤十字病院看護部長  
2005年 社団法人長野県看護協会会長

2003年 長野県知事表彰  
2007年 厚生労働大臣表彰  
2010年 日本看護協会会長表彰